

**藤沢市子どもと子育て家庭の生活実態調査
社会資源調査報告書**

2024年（令和6年）3月

藤沢市

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の実施概要	1
(1) 実施概要	1
(2) 集計結果の表示方法・留意事項	2
第2章 アンケート調査結果	3
1 法人・団体の基本情報について	3
(1) 法人・団体種別	3
(2) 子ども・若者、子育て支援の活動状況	3
2 子ども・子育て家庭の支援に関連する活動概要	4
(1) 職員・ボランティアの人数	4
(2) 子ども、若者、子育て家庭を対象とする活動	5
(3) 主な活動	6
(4) 主な活動の開始年	7
(5) 主な活動の対象者の年齢層	7
(6) 主な活動の対象者の条件	8
(7) 子ども、若者の参加費用	8
(8) 大人の参加費用	9
(9) 主な活動の実施頻度	9
(10) 1回あたりの平均利用者数	10
(11) 藤沢市内の活動拠点	11
(12) 活動に関する課題	12
(13) 主な活動の今後の展望	13
(14) 子どもや家庭にとって重要だと思う関わりや支援の内容	14

3	今後の藤沢市の子どもや子育て家庭の支援について	15
	(1) 実態調査の公表 URL の送付希望	15
	(2) 子ども・若者、子育て支援に関するイベントへの関心	15
	(3) 藤沢市の子ども・若者、子育て支援への意見	16
4	調査結果のまとめ	17
	(1) 法人・団体の基本情報について	17
	(2) 子ども・子育て家庭の支援に関連する活動について	17
	(3) 今後の藤沢市の子どもや子育て家庭の支援について	18
参 考 資 料		19
1	アンケート調査項目	20
2	調査回答者の活動・取組概要	34
	(1) 子ども・若者の居場所	34
	(2) 学習支援	38
	(3) スポーツ・運動に関する活動	39
	(4) その他の体験活動（自然体験、職業体験、文化芸術体験、国際交流等）	41
	(5) 子ども食堂	44
	(6) 食料支援	44
	(7) 保護者の相談・交流の場	45

第 1 章 調査の概要

1 調査の実施概要

(1) 実施概要

ア 調査の目的

この調査では、藤沢市内で子どもの居場所をはじめとする子どもや若者を支援する活動をする団体を対象に、市内にある子どもの居場所等の活動状況や、子どもや若者の支援ニーズ、市の施策への意見等を把握し、令和7年度から始まる次期の子ども、若者、子育て家庭の支援に関する分野における計画の策定や、子ども・若者分野の施策を検討することを目的としてアンケート調査を実施した。

イ 調査名称

子どもと子育て家庭の生活実態調査 社会資源調査

ウ 調査対象

市内にある子どもの居場所を運営している施設や団体等

エ 調査実施期間

令和5年9月12日（火）から10月31日（火）

オ 実施方法

市が把握している子どもや若者の居場所を運営している施設・団体への電子メールによる調査依頼、及び市ホームページに調査ページを掲載し、インターネット上に設置した専用フォームにアクセスしてアンケート調査に回答（オンライン回答）

カ 回答数

回答数 69 件、有効回答数 47 件※

※ 回答のうち、市の事業（委託や指定管理による事業、及び市と協定を締結して実施している放課後児童クラブ）の回答を除いた件数

キ 調査項目

調査項目は、市内での活動状況を中心に、次の質問項目を設定した。なお、実際の調査設問項目は参考資料に掲載する。

図表 1-1 アンケート調査の調査項目

調査内容	質問項目
法人・団体の基本情報	法人・団体名称、代表者、住所、電話番号、メールアドレス、公開 URL、法人団体種別、支援の活動状況 等
市内における活動概要	職員・ボランティアの人数、市内での活動種類、活動の名称・活動概要・開始年、対象者、参加費用、実施頻度、平均利用者数、活動拠点、活動の課題・展望、重要だと思う支援 等
市の支援	市の子ども・若者、子育て支援への意見 等

(2) 集計結果の表示方法・留意事項

- 図表中の（回答数：数字）はその設問についての有効回答数（集計対象件数）を示している。
- 単一回答（1つだけ選択する回答形式）の設問について、回答の比率（%）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、各選択肢の回答に関する数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答（あてはまるものすべてを選択する回答形式）の設問について、回答の比率（%）は、その質問の回答者数を分母として算出しているため、すべての比率を合計すると、100.0%を超える場合がある。
- 本アンケート調査は、市が把握している施設や団体への電子メールによる調査依頼と、市ホームページへの調査実施を周知するページの掲載により回答を依頼する方法で実施した。そのため、市内の子ども・若者、子育て家庭支援を行う活動団体に関する全体の傾向を表す代表性が保証されない点に留意が必要である。

第2章 アンケート調査結果

1 法人・団体の基本情報について

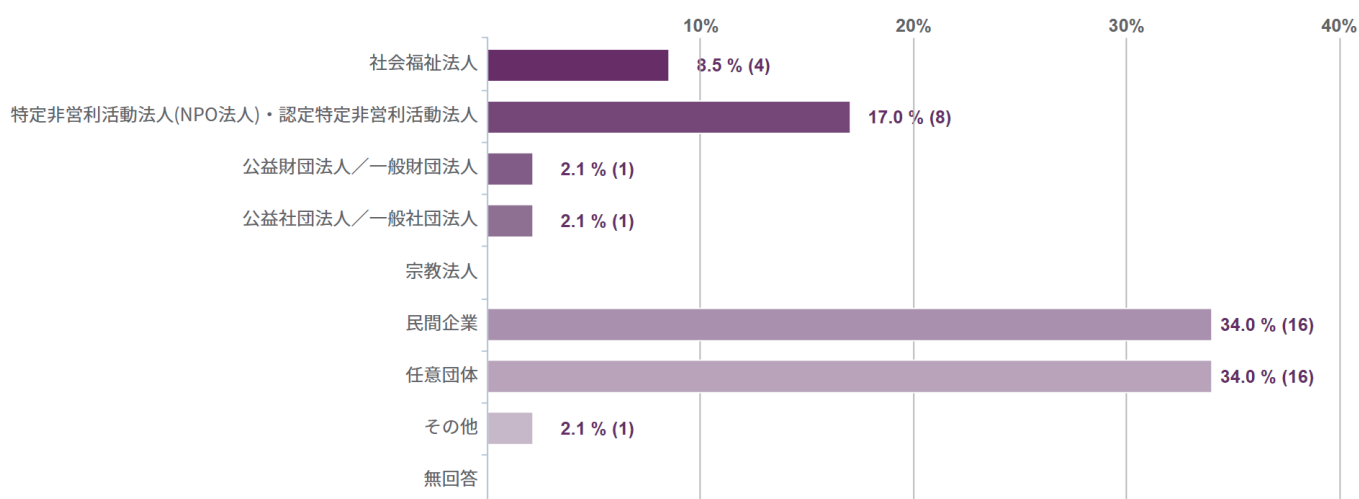
(1) 法人・団体種別

回答者の法人・団体種別について、「民間企業」と「任意団体」が最も多く34.0%（16件）、次いで、「特定非営利活動法人（NPO法人）・認定特定非営利活動法人」が17.0%（8件）となっている。

Q2. 貴法人・団体の種別をご回答ください。（1つだけ）

（回答数: 47）

図表 2-1 法人・団体種別



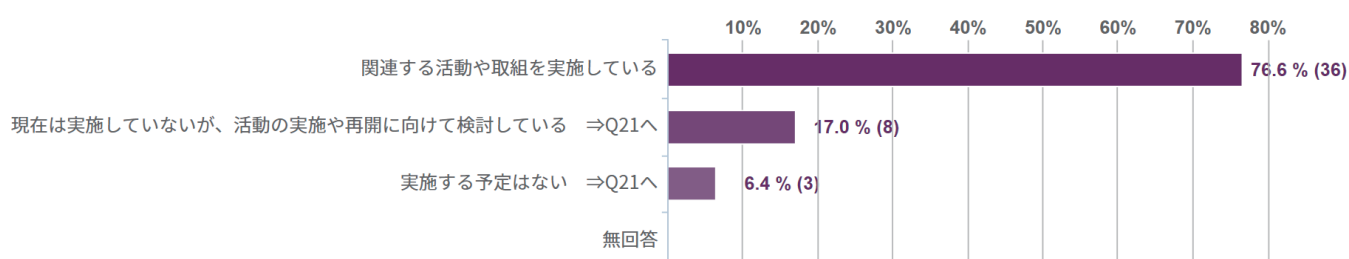
(2) 子ども・若者、子育て支援の活動状況

子ども・若者、子育て支援の活動状況について、回答者の76.6%（36件）が、藤沢市内で「関連する活動や取組を実施している」と回答した。「現在は実施していないが、活動の実施や再開に向けて検討している」と回答した割合は17.0%（8件）となっている。

Q3. 貴団体は、現在、藤沢市内で、子どもや若者の居場所、生活・学び・体験に関する支援、子育て支援に関連のある活動を実施していますか。または、今後実施することを検討していますか。（1つだけ）

（回答数: 47）

図表 2-2 子ども・若者、子育て支援の活動状況



2 子ども・子育て家庭の支援に関連する活動概要

(1) 職員・ボランティアの人数

藤沢市内で活動を実施している団体に対して、運営に関わっている常勤職員数、非常勤職員数、ボランティアの人数を尋ねた。有給職員である常勤職員が0人と回答した割合は38.9%（14件）となっている。また、非常勤職員が0人と回答した割合は38.9%（14件）となっている。

Q4 貴法人・団体の運営に関わっている常勤・非常勤の有給の職員・ボランティアの人数(2023年4月1日時点)について、それぞれの人数をご回答ください。

※該当する職員やボランティアがいない場合は0と記入してください。(数字を記入) (回答数: 36)

図表 2-3 職員・ボランティアの人数

	件数			割合			割合(除無回答)		
	常勤職員	非常勤職員	ボランティア	常勤職員 n=36	非常勤職員 n=36	ボランティア n=36	常勤職員 n=30	非常勤職員 n=29	ボランティア n=31
0人	14	14	5	38.9%	38.9%	13.9%	46.7%	48.3%	16.1%
1~5人	10	5	9	27.8%	13.9%	25.0%	33.3%	17.2%	29.0%
6~10人	1	4	8	2.8%	11.1%	22.2%	3.3%	13.8%	25.8%
11人以上	5	6	9	13.9%	16.7%	25.0%	16.7%	20.7%	29.0%
無回答	6	7	5	16.7%	19.4%	13.9%	-	-	-
全体	36	36	36	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※常勤職員(実人数)※週28時間以上(週に4日×1日7時間)勤務

※非常勤職員(実人数)※週28時間未満の勤務

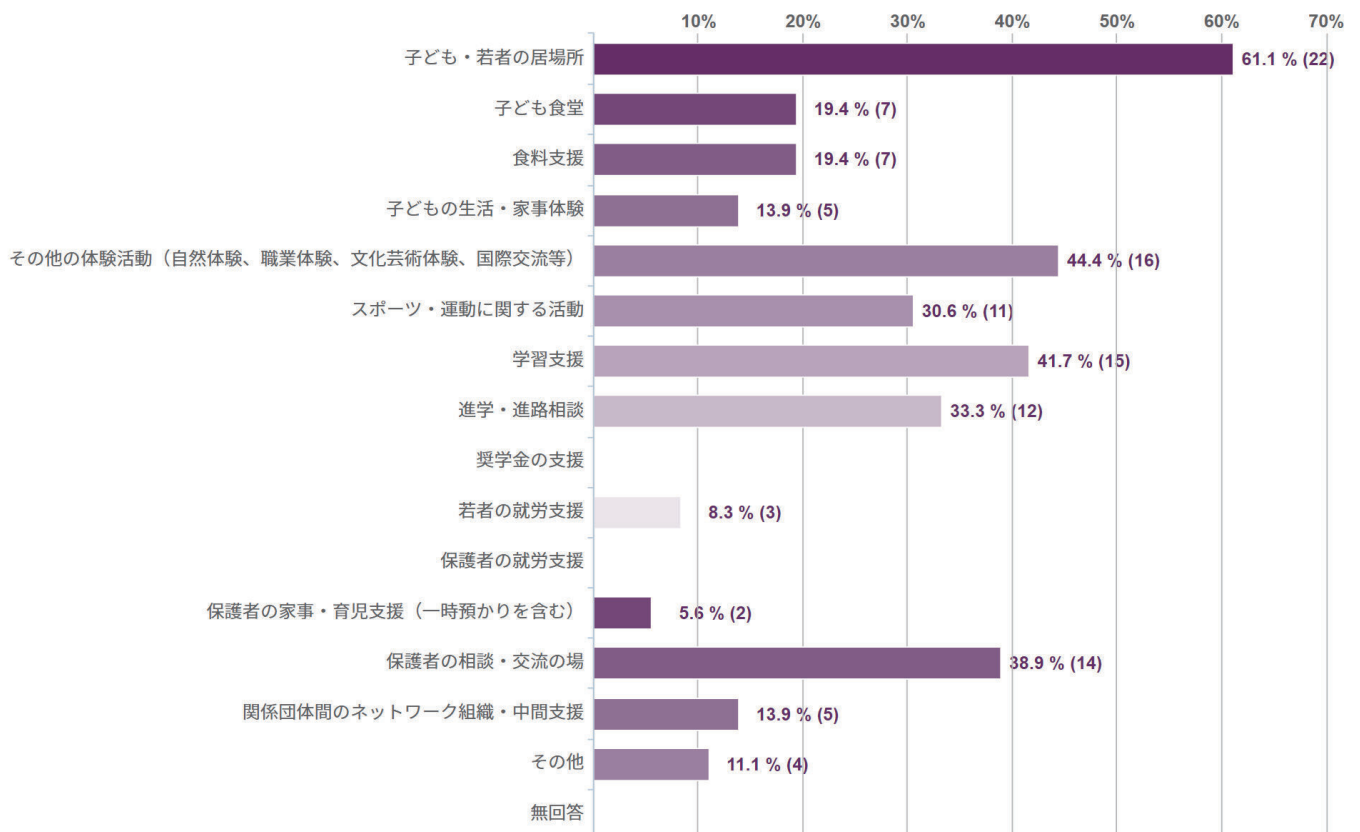
※ボランティア(直近1か月に活動に参加した実人数)

(2) 子ども、若者、子育て家庭を対象とする活動

藤沢市内で活動を実施している団体に対して、市内で取り組んでいる支援活動を尋ねたところ、「子ども・若者の居場所」が最も多く 61.1% (22 件)、次いで、「その他の体験活動（自然体験・職業体験・文化芸術体験・国際交流等）」が 44.4% (16 件)、「学習支援」が 41.7% (15 件) となっている。

Q5. 貴法人・団体が、現在、藤沢市内で取り組んでいる子ども、若者、子育て家庭に対する支援活動について、当てはまる活動をすべて選択してください。藤沢市外で実施している事業や活動は対象外としてください。(いくつでも) (回答数: 36)

図表 2-4 子ども、若者、子育て家庭を対象とする活動

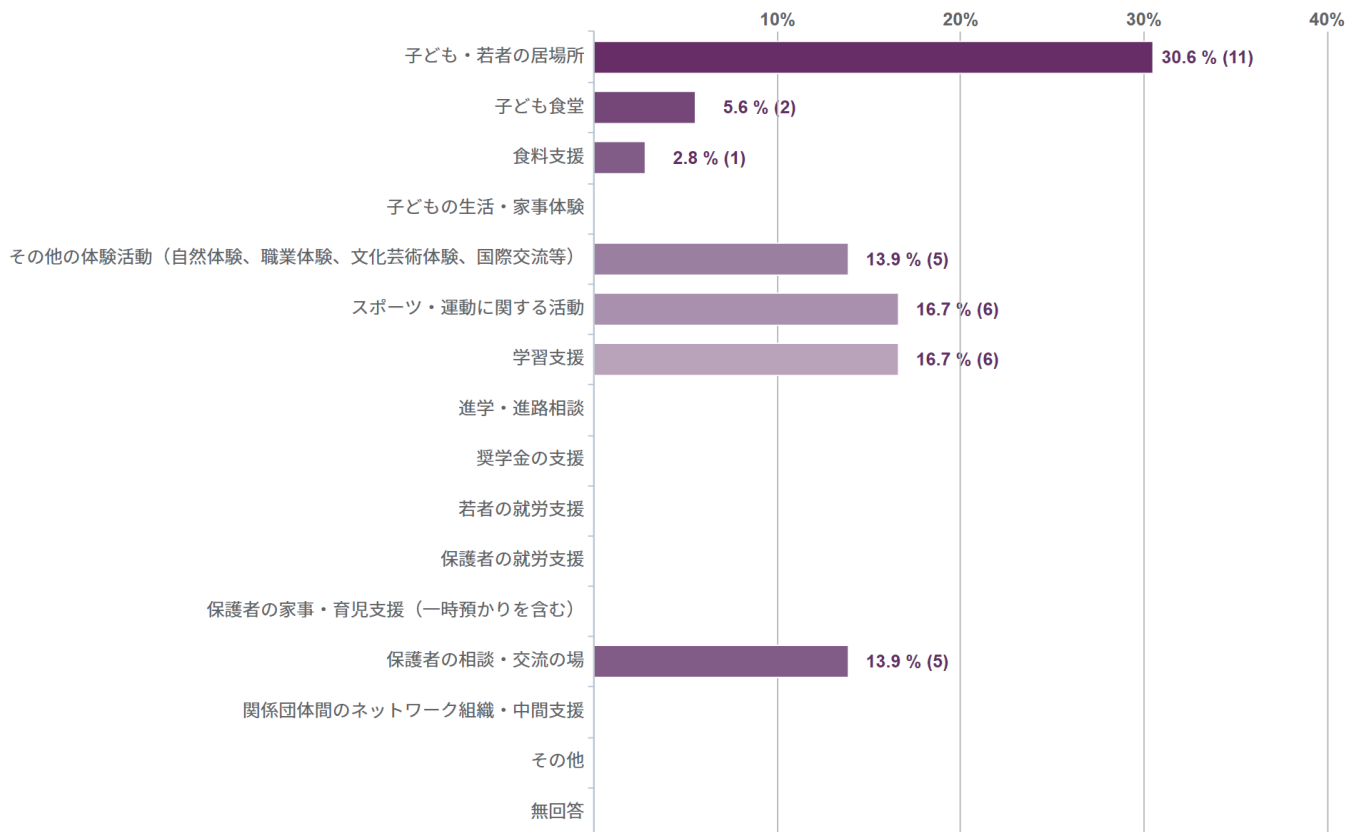


(3) 主な活動

藤沢市内における主な活動（1つだけ選択）について、「子ども・若者の居場所」と回答した割合が最も多く 30.6%（11 件）、次いで、「スポーツ・運動に関する活動」と「学習支援」が 16.7%（6 件）となっている。

Q6. Q5で選択した、子ども、若者、子育て家庭に対する活動のうち、貴法人・団体の主な活動を1つだけ選択してください。主な活動は、貴法人・団体における藤沢市内での活動実績からご判断ください。（1つだけ）
 (回答数: 36)

図表 2-5 主な活動



(4) 主な活動の開始年

主な活動の開始年について、2010年代が最も多く 50.0% (18 件)、次いで 2020 年代が 22.2% (8 件) となっている。

Q9. Q7で回答いただいた主な活動の開始年(西暦)はいつですか。(1つだけ)

(回答数: 36)

図表 2-6 主な活動の開始年

	件数	割合 n=36	割合(除無回答) n=34
1980年以前	2	5.6%	5.9%
1980年代	3	8.3%	8.8%
1990年代	3	8.3%	8.8%
2000年代	0	0.0%	0.0%
2010年代	18	50.0%	52.9%
2020年代	8	22.2%	23.5%
無回答	2	5.6%	-
全体	36	100.0%	100.0%

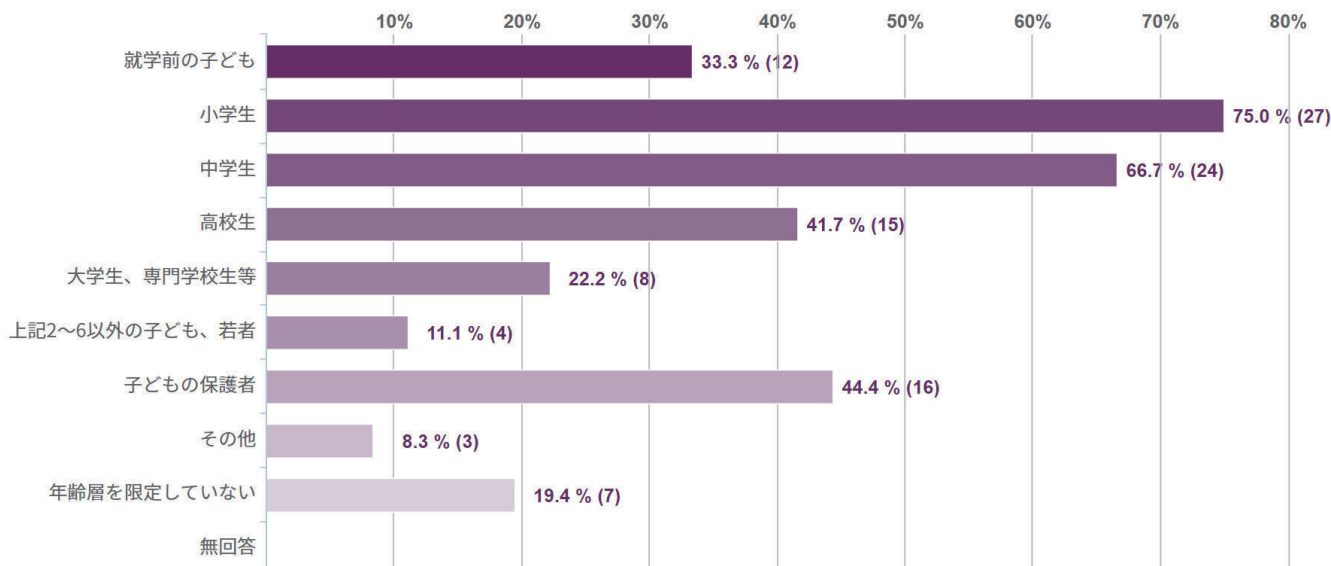
(5) 主な活動の対象者の年齢層

主な活動の対象者の年齢層について、「小学生」が最も多く 75.0% (27 件)、次いで「中学生」が 66.7% (24 件) となっている。

Q10. Q7の主な活動について、対象者(利用者)の年齢層をご回答ください。(いくつでも)

(回答数: 36)

図表 2-7 主な活動の対象者の年齢層

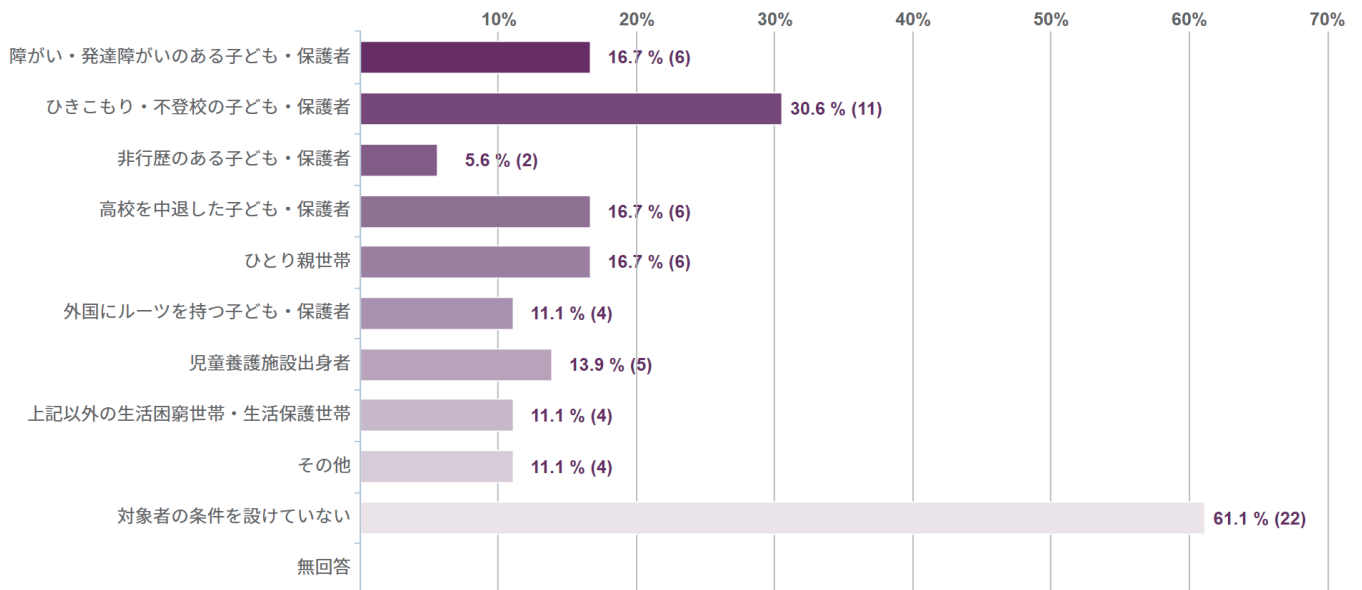


(6) 主な活動の対象者の条件

主な活動の対象者の条件について、「対象者の条件を設けていない」という回答が最も多く 61.1% (22 件)、次いで、「ひきこもり・不登校の子ども・保護者」が 30.6% (11 件)、「障がい・発達障がいのある子ども・保護者」、「高校を中退した子ども・保護者」、「ひとり親世帯」がそれぞれ 16.7% (6 件) となっている。

Q11. Q7の主な活動について、主な対象者(利用者)の想定や条件はありますか。(いくつでも) (回答数: 36)

図表 2-8 主な活動の対象者の条件

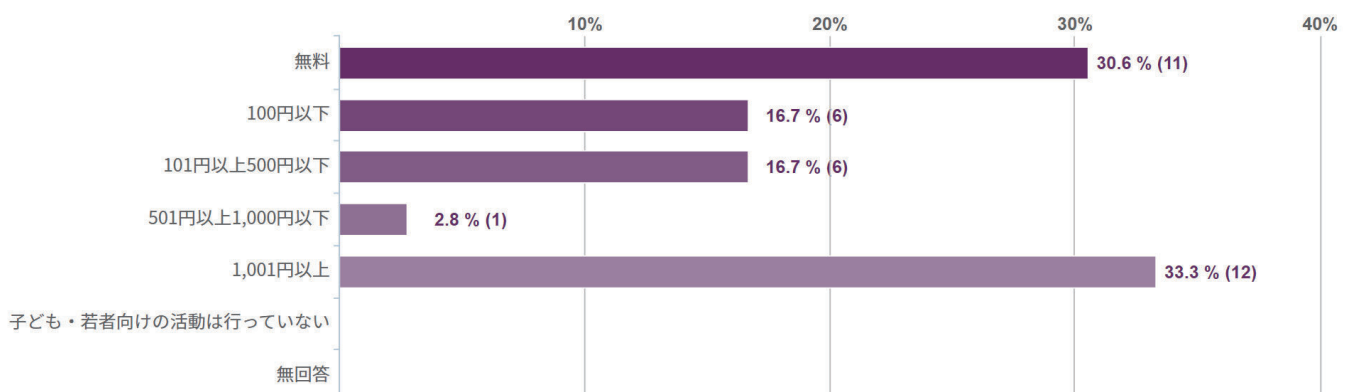


(7) 子ども、若者の参加費用

子ども、若者の参加費用について、「1,001円以上」が最も多く 33.3% (12 件)、次いで、「無料」が 30.6% (11 件) となっている。なお、「1,001円以上」の回答は、主な活動が「学習支援」や「スポーツ・運動に関する活動」が各 4 件。「無料」の回答は、「子ども・若者の居場所」が 7 件となっている。

Q12. Q7の主な活動について、対象者(子ども、若者)が負担する1回あたりの負担額(参加費)をご回答ください。月額や年額の場合は1回あたりに直したおおよその金額をお答えください。(1つだけ) (回答数:36)

図表 2-9 子ども、若者の参加費用

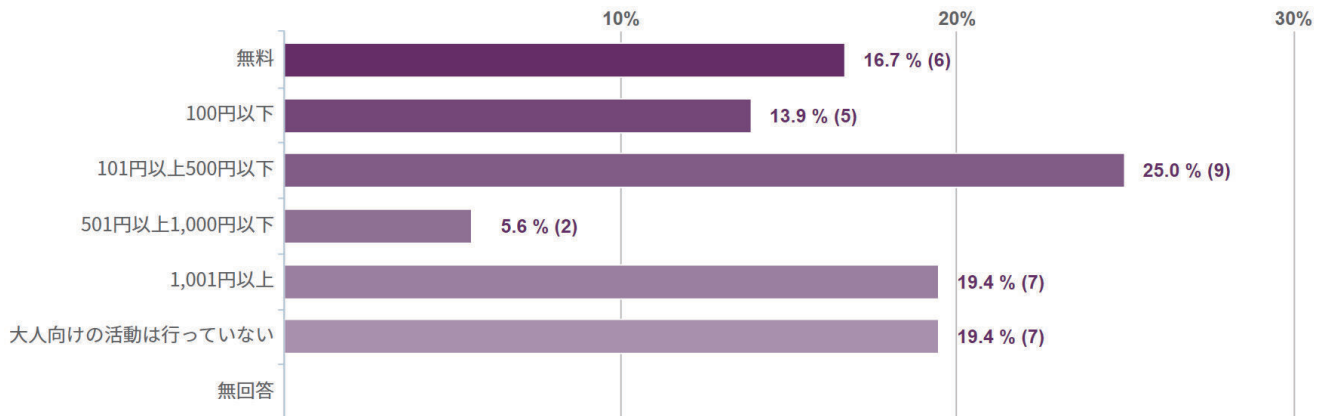


(8) 大人の参加費用

大人の参加費用について、「101円以上500円以下」が最も多く25.0%（9件）、次いで、「1,001円以上」が19.4%（7件）となっている。また、「大人向けの活動は行っていない」と回答したのは19.4%（7件）となっている。

Q13. Q7の主な活動について、対象者(大人)が負担する1回あたりの負担額(参加費)をご回答ください。月額や年額の場合は1回あたりに直したおおよその金額をお答えください。(1つだけ) (回答数: 36)

図表 2-10 大人の参加費用

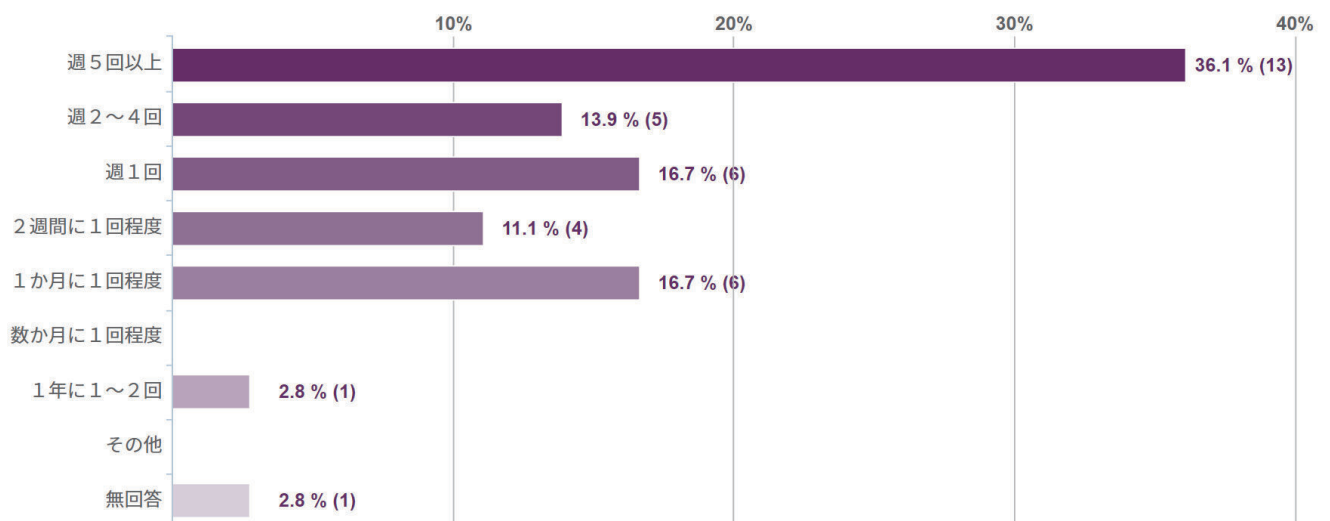


(9) 主な活動の実施頻度

主な活動の実施頻度について、「週5回以上」が最も多く36.1%（13件）、次いで、「週1回」と「1か月に1回程度」がそれぞれ16.7%（6件）となっている。

Q14. Q7の主な活動について、藤沢市内での今年度の実施頻度を教えてください。藤沢市内の複数の拠点で活動している場合は、最も実施頻度が高い拠点についてお答えください。(1つだけ) (回答数: 36)

図表 2-11 主な活動の実施頻度

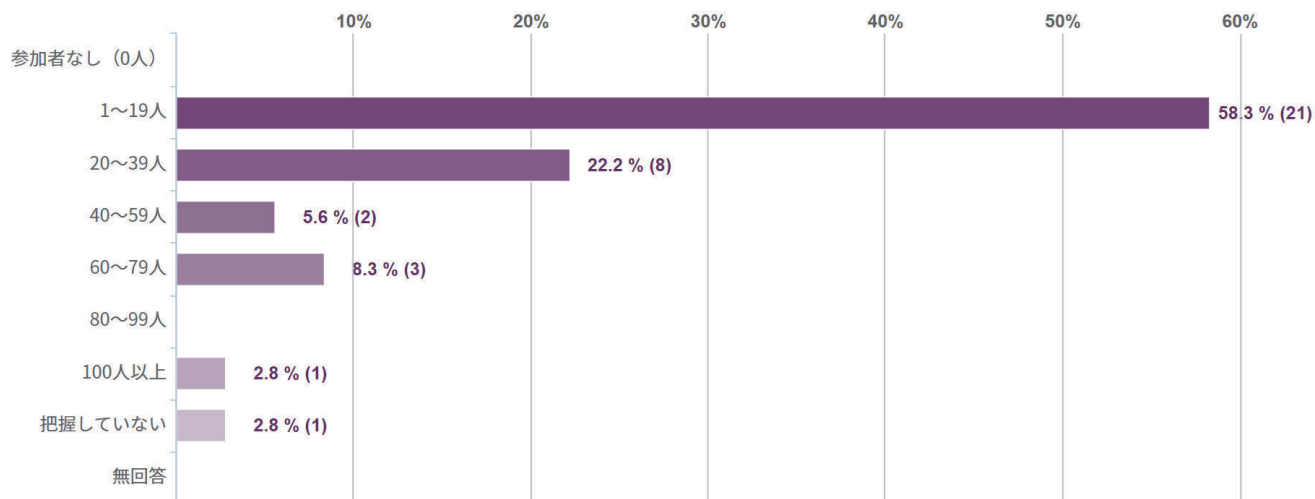


(10) 1回あたりの平均利用者数

1回あたりの平均利用者数について、「1～19人」が最も多く58.3%（21件）、次いで、「20～39人」が22.2%（8件）となっている。

Q15. 直近の藤沢市内での主な活動について、1回あたりの平均参加者数(利用者数)をご回答ください。(1つだけ)
(回答数:36)

図表 2-12 1回あたりの平均利用者数



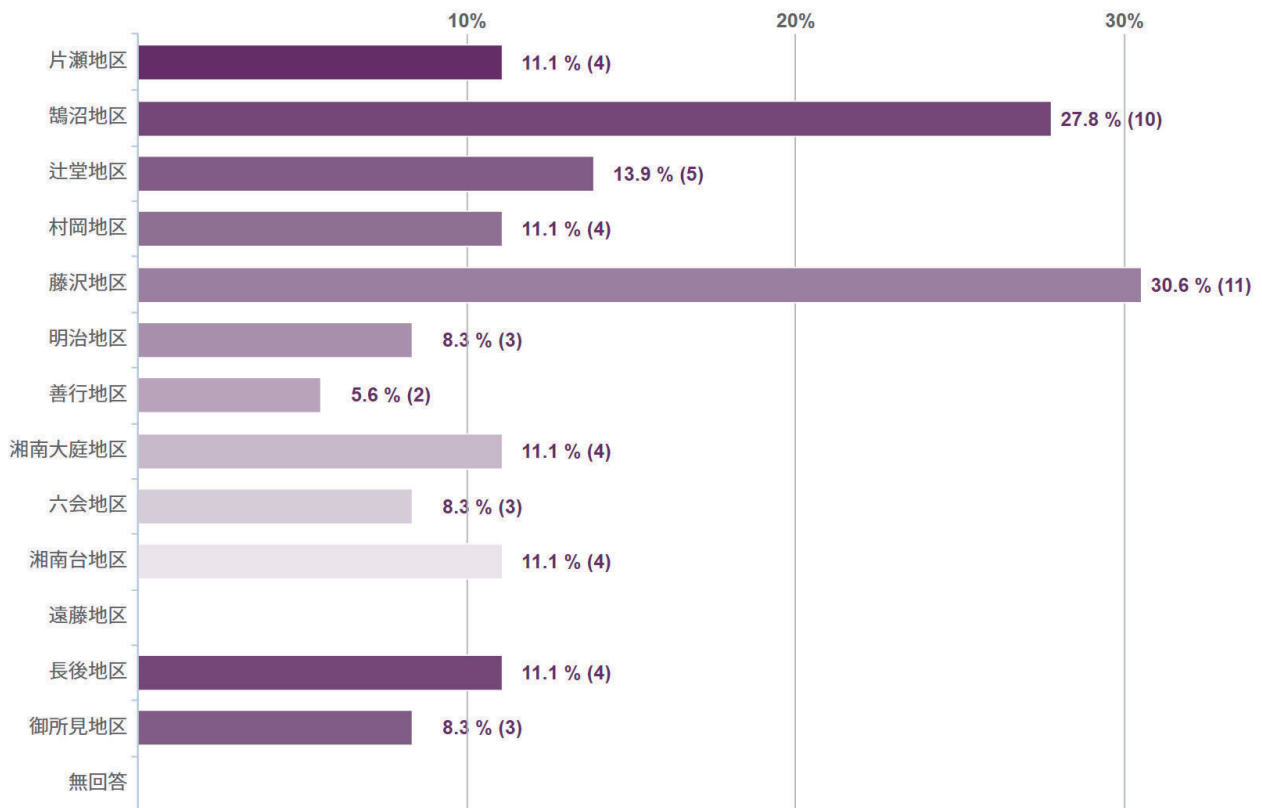
(11) 藤沢市内の活動拠点

藤沢市内の活動拠点について、「藤沢地区」が最も多く 30.6% (11 件)、次いで、「鶴沼地区」が 27.8% (10 件) となっている。

Q16. Q7で回答した主な活動の藤沢市内の活動拠点を選択してください。(いくつでも)

(回答数: 36)

図表 2-13 藤沢市内の活動拠点

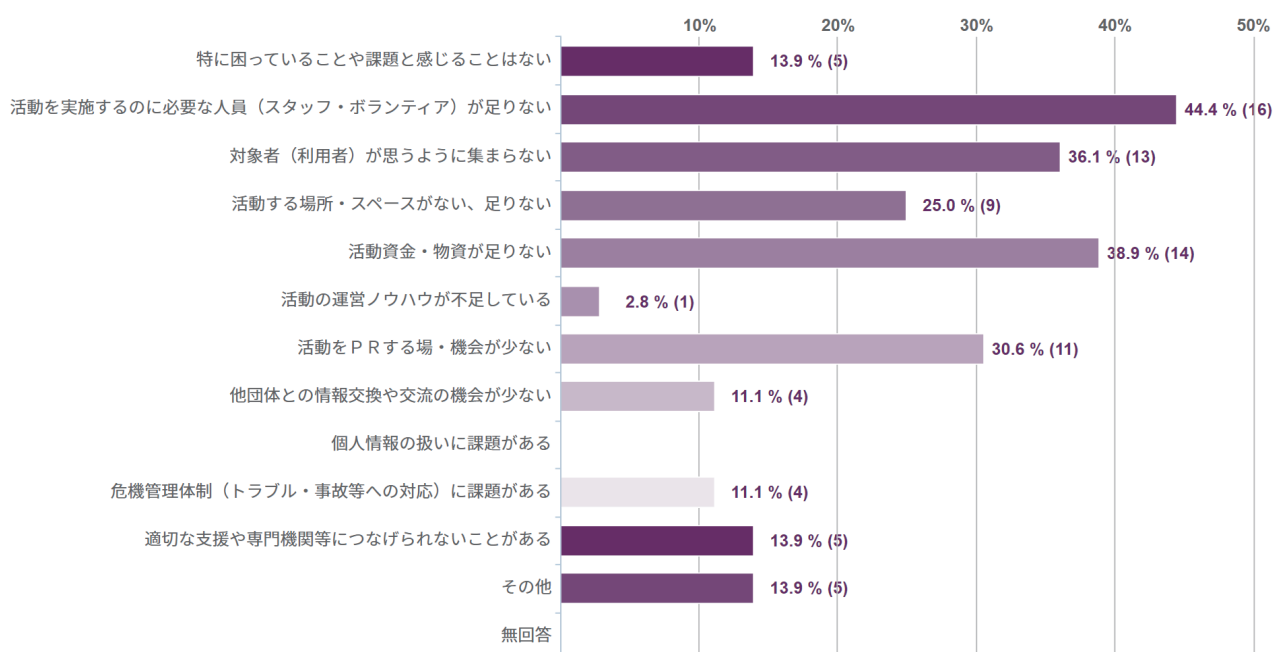


(12) 活動に関する課題

藤沢市内で活動する中で困っていることや課題だと感じることについて、「活動を実施するのに必要な人員（スタッフ・ボランティア）が足りない」が最も多く 44.4%（16 件）、次いで、「活動資金・物資が足りない」が 38.9%（14 件）、「対象者（利用者）が思うように集まらない」が 36.1%（13 件）となっている。

Q18. 貴法人・団体が藤沢市内で活動する中で、困っていることや課題だと感じることは何ですか。（いくつでも）
 (回答数: 36)

図表 2-14 活動に関する課題



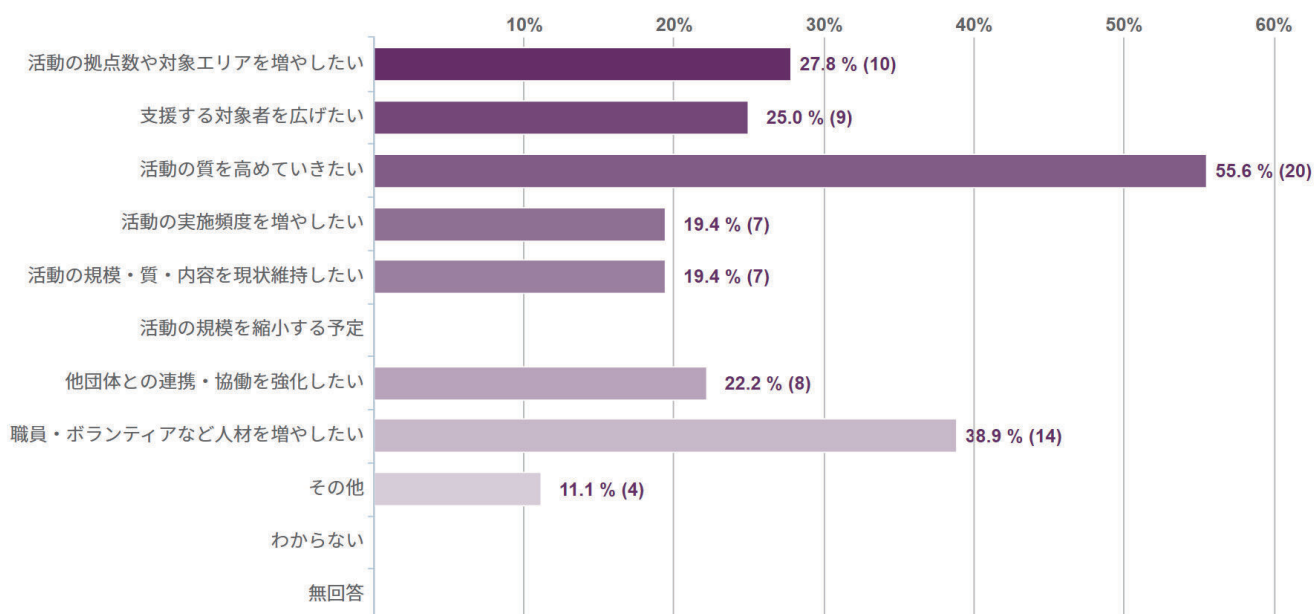
(13) 主な活動の今後の展望

藤沢市内における主な活動の今後の展望について、「活動の質を高めていきたい」が最も多く55.6%（20件）、次いで、「職員・ボランティアなど人材を増やしたい」が38.9%（14件）となっている。

Q19. 藤沢市内における主な活動について、今後の展望に当てはまるものを選択してください。（いくつでも）

(回答数: 36)

図表 2-15 主な活動の今後の展望



(14) 子どもや家庭にとって重要だと思う関わりや支援の内容

市内の活動で接点を持つ、厳しい状況に置かれた子どもや若者への支援で重要なことについての自由意見記述では、子どもや若者との具体的な関わり方に関する意見、行政・教育・関係機関との連携に関する意見、子どもや若者の居場所の充実に関する意見、不登校の子どもへの支援等に関する意見が多く挙げられた。意見分類ごとの代表的な意見については、枠内に掲載した。

Q20. 貴法人・団体が、藤沢市内の活動で接点を持つ中で、厳しい状況に置かれた子どもや若者に気づくことはありますか。そのような子どもや若者に対して、どのような関わりや支援が重要だと思いますか。(自由記述)

(回答数: 29)

代表的な自由記述の紹介

<子ども・若者との具体的な関わり方>

- 日頃から温かいまなざしを向け、声を掛けること。決して否定せず、ありのままを受容し、傾聴の姿勢でいること。
- 日常的なコミュニケーションの積み重ねから醸成される信頼関係がベースにあってこそその支援。
- その子がくつろいで自分らしく居られる空間や関わり方を自然体で。「かわいそう」「してあげる」という関わりはNG。

<行政・教育・関係機関との連携>

- 学校とよい関係を築き、情報共有や連携ができるようにしておくこと。行政やインフォーマルな相談窓口や地域資源を知っておくこと。
- 厳しい状況におかれた子ども（ネグレクト等）に気付いた時は、民生委員、CSW と連携して関係機関につなげている。日頃からコミュニケーションを取り、連携、情報共有することが重要。

<子ども・若者の居場所の充実>

- 自分一人で気軽に来られる距離感の居場所が子ども誰にでも必要。
- 誰もが悩みを話せる「場」を作ること。信頼を築き、なんでも、いつでも相談できる「人」を増やしていくこと。
- もっと前向きに学校以外の場を選択できるよう、多様な「居場所」を増やすことと、それを知る機会を増やすことが必要。

<不登校の子どもに対する支援>

- 不登校になると体験の機会が極端に減ってしまう。不登校当事者親子だけで様々な体験の機会を作り出していくのは限界であり、地域の理解者を増やし、地域のみんなで当事者親子を支えていく必要がある。
- フリースクールは私立同様お金がかかるため、不登校で心の元気を失った状態で行くにはハードルが高い。無料あるいは低料金で安心して通えるハブのような場所が必要。スタッフには、その子のありのままを受け止められる人材が必要不可欠。

<学校以外の学習支援や体験の場>

- 学校での学習についていけないまま授業が進み、学習意欲がなくなってしまう子どもが思っていた以上に多いことに気付く。学校での個別補習や取り出し授業が足りないのだと思うが、先生方の状況を聞くと、現実には難しい状況にある。地域の力には限界があり、個別に寄り添う学習支援を、公的な組織の中で実施する環境が必要。
- 様々な体験をリーズナブルな価格で、多様な人と共に経験する機会が足りないと感じる。

3 今後の藤沢市の子どもや子育て家庭の支援について

(1) 実態調査の公表 URL の送付希望

実態調査の公表 URL の送付希望について、「希望する」と回答した割合は 85.1% (40 件) となっている。

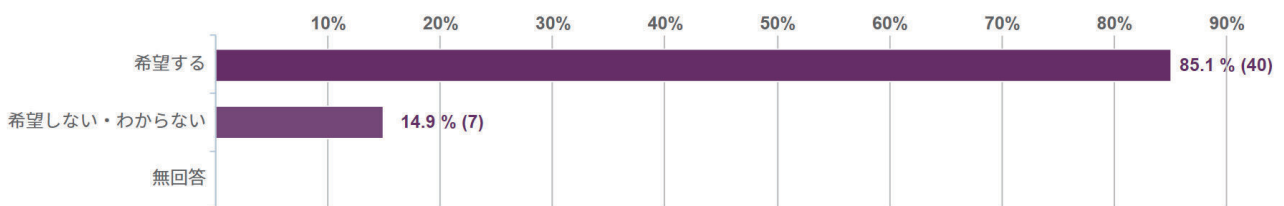
すべての方に伺います

Q21. 藤沢市では、今年度、本調査をはじめとする子どもや子育て家庭の生活実態調査を実施しています。実態調査結果報告書の公表 URL を、ご記入いただいた電子メールアドレス宛にご案内することを希望しますか。

(1 つだけ)

(回答数: 47)

図表 2-16 実態調査の公表 URL の送付希望



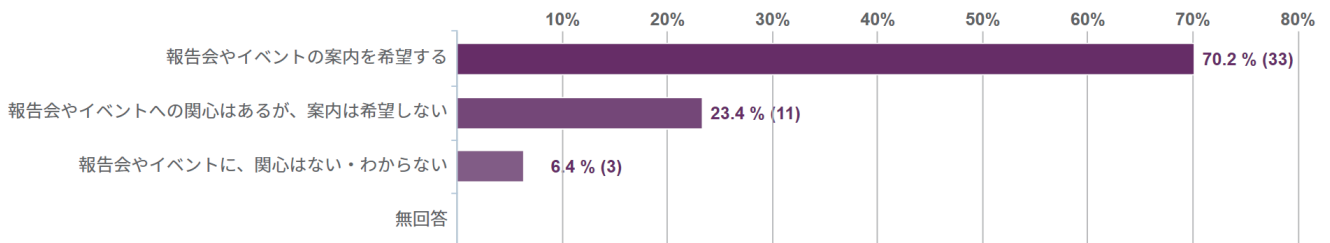
(2) 子ども・若者、子育て支援に関するイベントへの関心

子ども・若者、子育て支援に関するイベントへの関心について、「報告会やイベントの案内を希望する」が最も多く 70.2% (33 件)、次いで、「報告会やイベントへの関心はあるが、案内は希望しない」が 23.4% (11 件) となっている。

Q22. 藤沢市では、子ども・子育て家庭の生活実態調査の報告会や、子どもや家庭への支援について関係者が対話する場の開催を検討しています。このようなイベントに関心はありますか。また、イベントの案内を差し上げてもよいですか。(1 つだけ)

(回答数: 47)

図表 2-17 子ども・若者、子育て支援に関するイベントへの関心



(3) 藤沢市の子ども・若者、子育て支援への意見

今後、藤沢市が強化すべき子ども・若者、子育て支援に関する取組について、35件の回答が寄せられた。特に、子ども・若者の居場所の充実に関する意見、不登校の子どもの支援に関する意見、関係者の連携に関する意見が多く挙げられた。意見の分類ごとの代表的な意見については、枠内に掲載した。

Q23. 藤沢市が「こどもまんなか社会」を目指して、子ども・若者、子育て支援を推進する中で、どのような取組が重要だと思いますか。効果が高いと思う取組や、市が今後力を入れるべき取組等について、自由に意見をお聞かせください。※貴法人・団体の活動以外の市の支援についてもお答えください。(自由記述)

(回答数: 35)

代表的な自由記述の紹介

<支援の方向性に関すること>

- 誰一人取り残さない「こどもがまんなか」の藤沢。
- 経済的にも精神的にも安心して赤ちゃんを産むことができ、子育てしやすい環境。
- 各家庭を孤立させないで、社会全体で子どもを見守り育てていく。

<子ども・若者の居場所に関すること>

- 放課後・休日における子どもたちが自由に遊べる場所、居場所の拡大。
- 公園等も含めて子どもたちが自由にいろんな工夫をして遊べる空間が増えるとよい。
- 中学卒業後以降に学校・家庭以外の無料で利用できる居場所（就労支援ではなく、ひきこもりの若者が出かける練習ができる場所など）。

<不登校の子どもに関する支援>

- 不登校の子どもが教室以外に行ける校内の居場所（校内居場所カフェ、別室登校の拡充など）や、歩いて行ける居場所。
- 出席扱いになる学習支援や、子ども食堂の機能を兼ね備えた場所。
- 子どもが学校以外にも多様な学びの選択肢を自分で選べる環境のための支援。

<行政、学校、支援団体の連携>

- 地域での行政、学校、支援団体と密な連携。
- 単独の団体や市、学校だけで子どもを見守ることは難しい。横のつながりで見守る。
- 子ども支援団体の活動場所として空き家などを活用できる仕組み等の支援。
- フードバンクや子ども食堂の宣伝、支援制度の周知。

<その他>

- 妊娠期間中など、親になると分かった時から「子どもの人権、発達、コミュニケーション、性教育」などを学べる機会。
- 経済的理由で進学を断念することがないように奨学金等の教育費への支援。

4 調査結果のまとめ

(1) 法人・団体の基本情報について

- 本調査の回答者の法人・団体種別は「民間企業」と「任意団体」が最も多く、それぞれ 34.0% (各 16 件)。
- 藤沢市内で、子ども・若者、子育て支援に関連する活動や取組を実施しているのは、76.6% (36 件)。

(2) 子ども・子育て家庭の支援に関連する活動について

- 藤沢市内で活動している 36 団体について、取り組んでいる活動を尋ねたところ、「子ども・若者の居場所」が最も多く 61.1% (22 件)、次いで、「その他の体験活動 (自然体験・職業体験・文化芸術体験・国際交流等)」が 44.4% (16 件)、「学習支援」が 41.7% (15 件)。
- 藤沢市内の活動実績から主な活動を尋ねると、「子ども・若者の居場所」と回答した割合が最も多く 30.6% (11 件)。
- 主な活動の対象年齢層は、「小学生」が最も多く 75.0% (27 件)、次いで「中学生」が 66.7% (24 件)。
- 主な活動の対象者の条件について、「対象者の条件を設けていない」という回答が最も多く 61.1% (22 件)、次いで、「ひきこもり・不登校の子ども・保護者」が 30.6% (11 件)。
- 子ども・若者の参加費用については、「1,001 円以上」が 33.3% (12 件)、「無料」が 30.6% (11 件)。なお、「1,001 円以上」の回答は、主な活動が「学習支援」や「スポーツ・運動に関する活動」が各 4 件。「無料」の回答は、「子ども・若者の居場所」が 7 件となっている。
- 主な活動の実施頻度について、「週 5 回以上」が最も多く 36.1% (13 件)、次いで、「週 1 回」と「1 か月に 1 回程度」がそれぞれ 16.7% (6 件)。
- 藤沢市内で活動する中で困っていることや課題だと感じることについて、「活動を実施するのに必要な人員 (スタッフ・ボランティア) が足りない」が最も多く 44.4% (16 件)、次いで、「活動資金・物資が足りない」が 38.9% (14 件)、「対象者 (利用者) が思うように集まらない」が 36.1% (13 件)。
- 藤沢市内の活動で接点を持つ、厳しい状況に置かれた子どもや若者への支援で重要なことについての自由意見記述では、子どもや若者との具体的な関わり方に関する意見、行政・教育・関係機関との連携に関する意見、子どもや若者の居場所の充実に関する意見、不登校の子どもへの支援等に関する意見が多く挙げられた。

(3) 今後の藤沢市の子どもや子育て家庭の支援について

- 今後、藤沢市が強化すべき子ども・若者、子育て支援に関する取組について、35件の回答が寄せられた。特に、子ども・若者の居場所の充実に関する意見、不登校の子どもの支援に関する意見、関係者の連携に関する意見が多くなっていた。
- 子ども・若者の居場所の充実に関する代表的な意見として、放課後や休日に子どもたちが自由に遊べる場所など、子ども・若者が無料で自由に過ごせる場を増やすことを求める意見があった。
- 不登校の子どもに関する支援の代表的な意見として、校内の教室以外の居場所や、不登校になった場合に多様な学びを選択できるための支援を求める意見があった。
- 関係者の連携に関する代表的な意見として、団体・市・学校などの横のつながりで子どもを見守ることが必要という意見や、行政が支援活動を紹介することを求める意見があった。

参 考 资 料

1 アンケート調査項目

法人・団体の基本情報について

Q1. 【基本情報】

貴法人・団体に関する次の情報にご回答ください。（それぞれの枠に記入）

法人名・団体名 必須 *

代表者氏名

郵便番号 （郵便番号7桁、ハイフンを抜き 記入例：2518601）

住所

電話番号 （半角数字、ハイフン抜き 記入例：0466503562） 必須 *

ホームページアドレス

記入者氏名 必須 *

連絡先Email （半角英数字 記入例：abc123@fujisawa.co.jp） 必須 *

(E-mail)

Q2. 【法人・団体種別】
貴法人・団体の種別をご回答ください。 **(1つだけ)**

- 1. 社会福祉法人
- 2. 特定非営利活動法人(NPO法人)・認定特定非営利活動法人
- 3. 公益財団法人／一般財団法人
- 4. 公益社団法人／一般社団法人
- 5. 宗教法人
- 6. 民間企業
- 7. 任意団体
- 8. その他

Q3.

【子ども・若者、子育て支援の活動状況】

貴団体は、**現在、藤沢市内で**、子どもや若者の居場所、生活・学び・体験に関する支援、子育て支援に関連のある活動を実施していますか。または、今後実施することを検討していますか。 **(1つだけ)**

- 1. 関連する活動や取組を実施している
- 2. 現在は実施していないが、活動の実施や再開に向けて検討している ⇒Q21へ
- 3. 実施する予定はない ⇒Q21へ

Q3で「1.関連する活動や取組を実施している」を選択した方のみ回答

子ども・子育て家庭の支援に関する活動概要

Q4.

【職員・ボランティアの人数】

貴法人・団体の運営に関わっている常勤・非常勤の有給の職員・ボランティアの人数（2023年4月1日時点）について、それぞれの人数をご回答ください。

※該当する職員やボランティアがいない場合は0と記入してください。（数字を記入）

常勤職員（実人数）※週28時間以上（週に4日×1日7時間）勤務

人

(半角数字)

非常勤職員（実人数）※週28時間未満の勤務

人

(半角数字)

ボランティア（直近1か月に活動に参加した実人数）

人

(半角数字)

Q5.

【子ども、若者、子育て家庭を対象とする活動】

貴法人・団体が、**現在、藤沢市内**で取り組んでいる子ども、若者、子育て家庭に対する支援活動について、当てはまる活動をすべて選択してください。藤沢市外で実施している事業や活動は対象外としてください。**(いくつでも)**

(複数選択)

1. 子ども・若者の居場所

2. 子ども食堂

3. 食料支援

4. 子どもの生活・家事体験

5. その他の体験活動（自然体験、職業体験、文化芸術体験、国際交流等）

6. スポーツ・運動に関する活動

7. 学習支援

8. 進学・進路相談

9. 奨学金の支援

10. 若者の就労支援

11. 保護者の就労支援

12. 保護者の家事・育児支援（一時預かりを含む）

13. 保護者の相談・交流の場

14. 関係団体間のネットワーク組織・中間支援

15. その他

Q6.

【主な活動】

Q5で選択した、子ども、若者、子育て家庭に対する活動のうち、貴法人・団体の**主な活動**を1つだけ選択してください。

主な活動は、貴法人・団体における藤沢市内での活動実績からご判断ください。 **(1つだけ)**

選択してください



Q7. 【主な活動の名称】

Q6で回答した、主な活動の「名称」をご回答ください。

(記入例：ふじさわ子ども食堂)

0文字

Q8.

【主な活動の概要】

貴法人・団体が藤沢市内で行っているQ7の主な活動について、どのような活動を行っているのかを具体的にご紹介ください。

※報告書に掲載する情報になりますので、活動の具体的な内容とともに、開催日時や開催場所、対象者、参加費用等の参加者向けの情報もご紹介ください。

活動・取組の概要

ここに、具体的な記入例を記載する

0文字

Q9. 【主な活動の開始年】

Q7で回答いただいた主な活動の開始年（西暦）はいつですか。 **(1つだけ)**

選択してください



Q10. 【主な活動の対象者の年齢層】

Q7の主な活動について、対象者（利用者）の年齢層をご回答ください。（いくつでも）

（複数選択）

1. 就学前の子ども

2. 小学生

3. 中学生

4. 高校生

5. 大学生、専門学校生等

6. 上記2～6以外の子ども、若者

7. 子どもの保護者

8. その他

9. 年齢層を限定していない

Q11. 【主な活動の対象者の条件】

Q7の主な活動について、主な対象者（利用者）の想定や条件はありますか。 **(いくつでも)**

(複数選択)

1. 障がい・発達障がいのある子ども・保護者

2. ひきこもり・不登校の子ども・保護者

3. 非行歴のある子ども・保護者

4. 高校を中退した子ども・保護者

5. ひとり親世帯

6. 外国にルーツを持つ子ども・保護者

7. 児童養護施設出身者

8. 上記以外の生活困窮世帯・生活保護世帯

9. その他

10. 対象者の条件を設けていない

Q12.

【子ども、若者の参加費用】

Q7の主な活動について、対象者（**子ども、若者**）が負担する1回あたりの負担額（参加費）をご回答ください。月額や年額の場合は1回あたりに直したおおよその金額をお答えください。（1つだけ）

- 1. 無料
- 2. 100円以下
- 3. 101円以上500円以下
- 4. 501円以上1,000円以下
- 5. 1,001円以上
- 6. 子ども・若者向けの活動は行っていない

Q13.

【大人の参加費用】

Q7の主な活動について、対象者（**大人**）が負担する1回あたりの負担額（参加費）をご回答ください。月額や年額の場合は1回あたりに直したおおよその金額をお答えください。（1つだけ）

- 1. 無料
- 2. 100円以下
- 3. 101円以上500円以下
- 4. 501円以上1,000円以下
- 5. 1,001円以上
- 6. 大人向けの活動は行っていない

Q14.

【主な活動の実施頻度】

Q7の主な活動について、藤沢市内での今年度の実施頻度を教えてください。藤沢市内の複数の拠点で活動している場合は、最も実施頻度が高い拠点についてお答えください。 **(1つだけ)**

- 1. 週5回以上
- 2. 週2～4回
- 3. 週1回
- 4. 2週間に1回程度
- 5. 1か月に1回程度
- 6. 数か月に1回程度
- 7. 1年に1～2回
- 8. その他

Q15.

【1回あたりの平均利用者数】

直近の藤沢市内での主な活動について、1回あたりの平均参加者数（利用者数）をご回答ください。 **(1つだけ)**

- 1. 参加者なし（0人）
- 2. 1～19人
- 3. 20～39人
- 4. 40～59人
- 5. 60～79人
- 6. 80～99人
- 7. 100人以上
- 8. 把握していない

Q16.

【藤沢市内の活動拠点】

Q7で回答した主な活動の藤沢市内の活動拠点を選択してください。(いくつでも)

(複数選択)

1. 片瀬地区

2. 鵜沼地区

3. 辻堂地区

4. 村岡地区

5. 藤沢地区

6. 明治地区

7. 善行地区

8. 湘南大庭地区

9. 六会地区

10. 湘南台地区

11. 遠藤地区

12. 長後地区

13. 御所見地区

Q17.

【活動拠点の名称と住所】

Q16で選択した活動拠点の内、藤沢市内で最も活動の実施頻度が高い拠点について、活動拠点・場所の名称と、住所をご回答ください。※拠点の住所を非公開としたい場合は、住所欄に「非公開」とご記入ください。

活動拠点・場所の名称

住所（神奈川県藤沢市に続く住所を記入）

Q18.

【活動に関する課題】

貴法人・団体が藤沢市内で活動する中で、困っていることや課題だと感じることは何ですか。 **(いくつでも)**
(複数選択)

1. 特に困っていることや課題と感ずることはない

2. 活動を実施するのに必要な人員（スタッフ・ボランティア）が足りない

3. 対象者（利用者）が思うように集まらない

4. 活動する場所・スペースがない、足りない

5. 活動資金・物資が足りない

6. 活動の運営ノウハウが不足している

7. 活動をPRする場・機会が少ない

8. 他団体との情報交換や交流の機会が少ない

9. 個人情報の扱いに課題がある

10. 危機管理体制（トラブル・事故等への対応）に課題がある

11. 適切な支援や専門機関等につなげられないことがある

12. その他

Q19.

【主な活動の今後の展望】

藤沢市内における主な活動について、今後の展望に当てはまるものを選択してください。(いくつでも)

(複数選択)

1. 活動の拠点数や対象エリアを増やしたい

2. 支援する対象者を広げたい

3. 活動の質を高めていきたい

4. 活動の実施頻度を増やしたい

5. 活動の規模・質・内容を現状維持したい

6. 活動の規模を縮小する予定

7. 他団体との連携・協働を強化したい

8. 職員・ボランティアなど人材を増やしたい

9. その他

10. わからない

Q20.

【子どもや家庭にとって重要だと思う関わりや支援の内容】

貴法人・団体が、藤沢市内の活動で接点を持つ中で、厳しい状況に置かれたが子どもや若者に気づくことはありますか。そのような子どもや若者に対して、どのような関わりや支援が重要だと思いますか。(自由記述)

重要だと思う関わり・支援

すべての方に伺います

今後の藤沢市の子どもや子育て家庭の支援について

Q21.

【実態調査の公表URLの送付希望】

藤沢市では、今年度、本調査をはじめとする子どもや子育て家庭の生活実態調査を実施しています。実態調査結果報告書の公表URLを、ご記入いただいた電子メールアドレス宛にご案内することを希望しますか。
(1つだけ)

1. 希望する

2. 希望しない・わからない

Q22.

【子ども・若者、子育て支援に関するイベントへの関心】

藤沢市では、子ども・子育て家庭の生活実態調査の報告会や、子どもや家庭への支援について関係者が対話する場の開催を検討しています。このようなイベントに関心はありますか。また、イベントの案内を差し上げてもよいですか。(1つだけ)

1. 報告会やイベントの案内を希望する

2. 報告会やイベントへの関心はあるが、案内は希望しない

3. 報告会やイベントに、関心はない・わからない

Q23.

【藤沢市の子ども・若者、子育て支援への意見】

藤沢市が「こどもまんなか社会」を目指して、子ども・若者、子育て支援を推進する中で、どのような取組が重要だと思いますか。効果が高いと思う取組や、市が今後力を入れるべき取組等について、自由に意見をお聞かせください。※貴法人・団体の活動以外の市の支援についてもご回答ください。(自由記述)

子ども・若者、子育て支援で力を入れるべき取組

2 調査回答者の活動・取組概要

以下の内容は、Q8の回答をそのまま掲載したものです。内容は回答時点のものとなっておりますので、詳細は各団体へお問合せください。

(1) 子ども・若者の居場所

法人・団体の名称	My Own Place
法人・団体種別	任意団体
活動の名称	MOP HOME 寺子屋
主な活動の開始年	2016年
主な活動拠点の名称	東勝寺
主な活動の概要	子どもの居場所づくり・学習支援・食事提供を行っている。活動メンバーは大学生で、子どもと「ななめの関係」であることを大切にしている。 開催日時：毎月第二・第四土曜日の13時から19時まで 開催場所：東勝寺 対象者：未就学児から高校3年生 参加費：無料（お食事をお召し上がりになる場合、保護者：300円、見学者：500円）
団体 URL	—
法人・団体の名称	NPO HONKI University
法人・団体種別	特定非営利活動法人(NPO 法人)・認定特定非営利活動法人
活動の名称	ユニバーサルカヌー体験会
主な活動の開始年	2014年
主な活動拠点の名称	辻堂海浜公園
主な活動の概要	辻堂海浜公園にて、ユニバーサルカヌー体験会を日曜日に実施している。
団体 URL	—
法人・団体の名称	NPO 法人自由創造ラボたんぽぽ
法人・団体種別	特定非営利活動法人(NPO 法人)・認定特定非営利活動法人
活動の名称	フリースペースラボたんぽぽ
主な活動の開始年	2017年
主な活動拠点の名称	本鵜沼市民の家、江の島市民の家
主な活動の概要	弊団体の活動は、不登校・多様な学びにかかわる人全ての方にご参加いただける。 ※ 月に2～3回、不登校・ホームスクール等、多様な学びを選択する家庭の「フリースペースラボたんぽぽ」を開催。参加費は1回300円。 ※ 月に1回、不登校の子どもたちをオンラインでもリアルでも一緒につなぐ、マイクラフトを愉しむ「マイクラ部」を開催。オンライン無料、会場参加300円。 ※ 月に一度、不登校の保護者の相談会「カフェたんぽぽ」を開催。参加費100円。 ※ 5月～11月は、たんぽぽでの活動「たんぽぽで遊ぼう」を週末定期的に開催。参加費無料。 ※ 年に1回、自然体験を味わう自然合宿を開催。参加費は行く場所により異なる。 ※ その他不定期で湘南の自然を満喫する「そとラボ」を開催。参加無料。 ※ 不登校に関する相談は通年でお受けしている。無料。
団体 URL	https://labotanpopo.wixsite.com/tanpopo

法人・団体の名称	NPO 法人森の仔じゆうがっこう
法人・団体種別	特定非営利活動法人(NPO 法人)・認定特定非営利活動法人
活動の名称	森の仔じゆうがっこう
主な活動の開始年	1997 年
主な活動拠点の名称	—
主な活動の概要	フリースクール 週 3 日 学習支援 週 1 日 2 箇所 ホームページに詳細あり。
団体 URL	—

法人・団体の名称	マイミライ next
法人・団体種別	任意団体
活動の名称	コミュニティスペースリエゾン
主な活動の開始年	2023 年
主な活動拠点の名称	湘南大庭市民センター
主な活動の概要	<p>誰もが気軽に訪れることができる地域の居場所。地区在住の高校生、大学生を中心に世代間交流やイベントを通じて地域活性化を目指している。</p> <p>リエゾンは月 7 回程度不定期で開催。</p> <p>主なお知らせは Instagram と市民センターにチラシを掲示、月間予定は持ち帰り用のチラシを常設している。</p> <p>市民センターの多目的広場で挽きたてコーヒー（200 円）紅茶（150 円）ジュース（100 円）などの飲み物を提供、その売り上げで小学生以下のお子様果汁 100%ジュースを無料で提供している。荒天時はセンターのロビーで開催。スマホ相談なども高校生が担当している。</p> <p>市関係各課（企画政策課、デジタル推進室など）との連携、藤沢市 SDGs 共創パートナーとしても活動している。市社協、地区社協には多大なご支援をいただきながら、自分たちができる範囲での協力も積極的に行っている。10 月より地域障がい者施設 3 箇所が行うパン販売（センターロビー）と日程を合わせて連携していく。（月 4 回）</p> <p>4 月 22 日よりオープンした「リエゾン」＝橋渡し。リピーターも多く、利用者も増えている。</p> <p>リエゾンでボランティアをしてみたいと申し出された方が 9 月は 3 名、そこも世代の違う人と人同士がつながり、毎回楽しく活動をしている。</p> <p>10 月 26 日、地区子どもサポート会議と 2 中学校との共催事業（不登校や不登校気味のお子さんの保護者の方対象）「おちゃかい」～陽だまりでのおしゃべり～をリエゾンで開催する。継続事業となるのでずっと支援をしていく。</p>
団体 URL	—

法人・団体の名称	みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ
法人・団体種別	任意団体
活動の名称	御所見スマイルカフェ、用田ひだまりるーむ
主な活動の開始年	2020年
主な活動拠点の名称	用田ひだまりるーむ
主な活動の概要	<p>【御所見スマイルカフェ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日時：毎月第2月曜日（第2が祝日の場合は第3月曜日） ● 場所：宮原コミュニティかわせみ（藤沢市宮原3471） ● 対象者：どなたでも 参加費：無料（食堂は、おとなのみ200円以上の募金をお願いしている。） ● 内容：10-12時「登校に関するおしゃべり会」主に不登校のお子さんがいる保護者や、不登校に関心のあるおとなの座談会。 13-17時「子育てひろば&フリースペース」妊婦さんからOK！おとな・子どもどなたでもOKの居場所・遊び場。「ボードゲームでツナグ手」さんと共催。 17:30-19:30「みんなの食堂」ピュッフェスタイルの地域食堂。「みんご食堂」さんと共催。毎回、トータル70~80名にお越しいただいている。 <p>【用田ひだまりるーむ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日時：毎月第1・3木曜日 ● 場所：中丸町内会館（藤沢市用田2669） ● 対象者：どなたでも ● 参加費：無料 ● 内容：妊婦さんからOK！おとな・子どもどなたでもOKの居場所・遊び場。「ココロまち診療所」さんと共催。未就園児~中学生含む10~20名にお越しいただいている。
団体 URL	https://www.facebook.com/rainbowcafe.for.everyone

法人・団体の名称	社会福祉法人いきいき福祉会
法人・団体種別	社会福祉法人
活動の名称	地域ささえあいセンター かるがも
主な活動の開始年	
主な活動拠点の名称	地域ささえあいセンターかるがも
主な活動の概要	<p>みんなのいばしょとして月2回土曜日に子どもを含む多世代の居場所を開放している。</p> <p>第2・第4土曜日 10時~16時</p> <p>地域の中学校のテスト前には自習室として場所を開放している。フードバンクふじさわに届く食材をひとり親家庭や一人暮らしの大学生に配布する活動を行っている。</p> <p>フードパントリー 毎月第1木曜日 17時~19時</p> <p>その他法人としては裁判所から依頼を受け、更生が必要な少年の社会活動の受け入れも行っている。</p>
団体 URL	http://www.rapport.or.jp

法人・団体の名称	社会福祉法人喜寿福祉会
法人・団体種別	社会福祉法人
活動の名称	ささえあいセンターきらり
主な活動の開始年	2015年
主な活動拠点の名称	ささえあいセンターきらり
主な活動の概要	多世代交流 フードバンク
団体 URL	https://www.kijyu.or.jp
法人・団体の名称	社会福祉法人八寿会 地域の縁側村岡テラス
法人・団体種別	社会福祉法人
活動の名称	地域の縁側事業
主な活動の開始年	2016年
主な活動拠点の名称	村岡宮前ローカルサイト
主な活動の概要	地域における居場所づくり：月曜日～土曜日 13時～17時 地域における気軽な相談窓口：月曜日～土曜日 13時～17時 地域講座：定例開催/随時開催 地域交流イベント：定例開催/随時開催
団体 URL	https://midorinosono.or.jp/
法人・団体の名称	湘南まぜこぜ計画
法人・団体種別	特定非営利活動法人(NPO 法人)・認定特定非営利活動法人
活動の名称	寺子屋ハウス
主な活動の開始年	2016年
主な活動拠点の名称	若尾山公園
主な活動の概要	子どもは誰でも好きなききに來られる無料の居場所を毎週金曜(祝日除)、朝日町の若尾山公園メイン、向かいのアパートの一室にて開催。 参加費は無料。 ハロウィンやスイカ割り、出張駄菓子屋、夕食会などのイベントあり。
団体 URL	https://www.mazekoze.org/home
法人・団体の名称	特定非営利活動法人 NPO サポーターズ 地域の縁側「えん」
法人・団体種別	特定非営利活動法人(NPO 法人)・認定特定非営利活動法人
活動の名称	「えん」の夏休みイベント、「えん」の子どもクリスマス 等
主な活動の開始年	2017年
主な活動拠点の名称	地域の縁側「えん」
主な活動の概要	夏休みの縁側開所日は「10円かき氷」を行っている。10円で何回でもお代わりができ、自分でかき氷をかき、好きなシロップをかけて食べる。同時に「ワークショップ」も行っている。今年は消しゴムはんこ、ストーンアート、絵手紙などを用意。どちらも、利用者に協力をいただき、行っている。 冬休みは「子どもクリスマス」として、駄菓子の詰合せをプレゼント。利用者がサンタクロースに扮し、手渡しでプレゼントする。利用者が、日頃から作り置きしている小物なども安価で販売。子ども達は友達とお揃いにしたり、お父さんやお母さんへのクリスマスプレゼントにと買って帰った。 春休みは「えんのだがしや」として、安価の駄菓子屋を開いている。
団体 URL	http://www.shonanbm.co.jp

(2) 学習支援

法人・団体の名称	ECC シュニア鵜沼桜が岡 1 丁目教室
法人・団体種別	民間企業
活動の名称	英語教室
主な活動の開始年	2011 年
主な活動拠点の名称	ECC シュニア鵜沼桜が岡 1 丁目教室
主な活動の概要	幼児から中高生までを対象とした英語教室
団体 URL	—
法人・団体の名称	HOME 個別指導塾
法人・団体種別	民間企業
活動の名称	HOME 個別指導塾
主な活動の開始年	2019 年
主な活動拠点の名称	HOME 個別指導塾
主な活動の概要	日々勉強の指導や面談を実施している。
団体 URL	https://home-kobetsu.com
法人・団体の名称	トライ式高等学院藤沢キャンパス
法人・団体種別	民間企業
活動の名称	個別指導
主な活動の開始年	2015 年
主な活動拠点の名称	トライ式高等学院藤沢キャンパス
主な活動の概要	通信制サポート校併設のフリースクールとして、学習支援を行っている。完全マンツーマンの個別授業になるため、一人ひとりの特性や得意不得意に合わせて、授業の指導方法やコミュニケーションの取り方などを工夫している。 個別授業は小学生から中学生のお子さんを対象に、平日 9 時から 18 時までの間、好きな時間に設定することができる。費用などは個別でご案内させていただいている。
団体 URL	https://www.try-gakuin.com/
法人・団体の名称	株式会社アリデルレオーネ（つばさ英語塾）
法人・団体種別	民間企業
活動の名称	英語学習の支援（学習塾）
主な活動の開始年	2013 年
主な活動拠点の名称	つばさ英語塾
主な活動の概要	中学生・高校生（一部小学生）を対象に、個別指導（マンツーマン）で英語学習の支援をしている。 当塾のコンセプトを「私たち自身が通いたい塾であること」とし、フランチャイズチェーンのように、どこに行っても同じような学習塾ではなく、また集団授業では決してできない、一人ひとりの個性と学力に寄り添った指導で、子供たちに英語を学ぶ楽しさを伝え、さらには一生涯役に立つ英語を身に付けてもらい、グローバル化が進む中、英語をツールとして活躍できる人材を一人でも多く育成したい、という願いを胸に経営し、今年で 10 年目を迎える。
団体 URL	—

法人・団体の名称	創研学院 藤沢本町校
法人・団体種別	民間企業
活動の名称	集団授業・個別指導・質問対応・自習室
主な活動の開始年	—
主な活動拠点の名称	創研学院 藤沢本町校
主な活動の概要	総合学習塾
団体 URL	https://www.souken-gakuin.com/cms/fujisawahonmachi

法人・団体の名称	片瀬地区社会福祉協議会
法人・団体種別	任意団体
活動の名称	片瀬ひだまり教室
主な活動の開始年	2021 年
主な活動拠点の名称	片瀬地区ボランティアセンター
主な活動の概要	小学 3～6 年生対象 週 1 回（現在は月曜日）放課後 15:50～16:40、16:50～17:40 開催、各回 8 名定員 片瀬ボランティアセンターを使用 講師は元小学校教諭 4 名 補助として片瀬地区社協委員 4 名 全てボランティア（報酬なし） 参加費 1000 円/1 期（各学期、10～12 回） 国語、算数のみ、それぞれの児童の苦手な箇所を指導 個別に指導することを重視しており、講師 1 名につき児童 2 名としている 地域回覧にて募集、応募多数の場合は抽選 片瀬地区ボランティアセンター運営委員会との共催事業
団体 URL	—

(3) スポーツ・運動に関する活動

法人・団体の名称	アセツ体操スクール
法人・団体種別	民間企業
活動の名称	体操教室
主な活動の開始年	2023 年
主な活動拠点の名称	湘南台
主な活動の概要	火曜日～土曜日開催 器械体操の練習、アクロバット技の習得 プライベートレッスン
団体 URL	—

法人・団体の名称	スポーツクラブ NAS 藤沢
法人・団体種別	民間企業
活動の名称	キッズスクール NAS 藤沢
主な活動の開始年	2016 年
主な活動拠点の名称	スポーツクラブ NAS 藤沢
主な活動の概要	子供スポーツに関するスクール活動
団体 URL	https://www.nas-club.co.jp/fujisawa/

法人・団体の名称	ダンロップスポーツクラブ藤沢店
法人・団体種別	民間企業
活動の名称	水泳・体育・チアダンス・HIPHOP・空手教室
主な活動の開始年	1992年
主な活動拠点の名称	クラブ敷地内
主な活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> ●スイミングスクール（4か月～中学生） 月曜日～日曜日まで ●体育スクール（2歳6か月から中学生） 月曜日～水曜日・金曜日・土曜日 ●チアダンススクール（園児～中学生） 水曜日・木曜日・土曜日 ●HIPHOPダンススクール（小学生～中学生） 火曜日 ●空手教室 月曜日・金曜日 月会費制 約7,000円～10,000円
団体 URL	https://www.dunlopsportsclub.jp/fujisawa/

法人・団体の名称	ネイス株式会社 ネイス体操教室
法人・団体種別	民間企業
活動の名称	ネイスたいそう教室 湘南モールフィル校
主な活動の開始年	2010年
主な活動拠点の名称	湘南モールフィル 2F
主な活動の概要	<p>【場所】 湘南モールフィル 2F</p> <p>【住所】 神奈川県藤沢市辻堂新町 4-1-1</p> <p>【開催日時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜：15時05分～20時20分 ・火曜：15時05分～19時10分 ・水曜：休館日 ・木曜：10時15分～20時20分 ・金曜：10時15分～19時10分 ・土曜：10時15分～18時20分 ・日曜：10時15分～18時20分 <p>【対象者・内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すばいく教室：1歳10ヵ月～3歳（未就園児）2.5h 10,500円～17,800円、定員：1講師に対し6名定員 <p>お子さまの成長を促す「スポーツ」と「知育活動」を融合したお預かり教室です。運動機能を高めるトレーニングと、集団生活に必要な協調性、礼儀を学べるレッスン内容となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体操教室：年少～小学6年生 45min/ 50min 7,900円～14,000円、定員：1講師に対し7～8名 <p>技術も、あきらめない心も育てる！色々な目的を持って、多くの子ども達がレッスンを受けている。種目は基礎運動、マット運動、とび箱、鉄棒を行う。技術や体力の向上はもちろん、目標に向かって頑張ることの楽しさを感じてもらふこと、挨拶や集団行動のマナーを学べる指導を心がけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バク転教室：小学2年～成人 8,000円～13,200円、定員：1講師7名 <p>一般社団法人日本バク転協会認定校の大人も子どもも参加できるバク転教室。経験豊富な指導員がわかりやすく丁寧に指導。体操未経験の方の参加も大歓迎。まったくできなくても一から段階を経て指導している。週2回のレッスンで1ヶ月～2ヶ月ほどで習得できる方が多い。</p> <p>※習得までの期間は目安。バク転以外にもその他連続技なども指導も行う。</p>
団体 URL	https://ne-is.com/

法人・団体の名称	小糸バドミントンスポーツ少年団
法人・団体種別	任意団体
活動の名称	スポーツ活動（バドミントン）
主な活動の開始年	1985年
主な活動拠点の名称	藤沢市立小糸小学校
主な活動の概要	<p>本団体のある小学校区域を中心にし、一部、その周辺学区内の小学生を含めた団員で構成するスポーツ少年団で、バドミントンを主に活動の柱としている。</p> <p>活動場所は、藤沢市立小糸小学校の体育館であり、練習日は、月・金の夕方と土曜日の午前中である。</p> <p>毎年、6月（南北交流大会）、7月（夏季交流大会）、11月（秋季交流大会）、3月（春季交流大会）に参加し、他団団員との交流を深めている。</p> <p>また、年間4～5回実施される地域のごみ拾い活動（「ボイ捨てなくし隊」活動）にも毎回参加している。</p> <p>参加費用は、毎月1,000円程度である。</p>
団体 URL	—

法人・団体の名称	特定非営利活動法人湘南港マリセンター
法人・団体種別	特定非営利活動法人(NPO法人)・認定特定非営利活動法人
活動の名称	藤沢市青少年セーリングクラブ
主な活動の開始年	1998年
主な活動拠点の名称	江の島ヨットハーバー
主な活動の概要	<p>当団体では江の島ヨットハーバーにおいて小学3年生から中学3年生を対象にセーリング活動クラブを主催している。</p> <p>ここは子どもだけではなく、家族で活動を応援、支援いただく体制をとっている。詳細は事務局まで問い合わせ。</p>
団体 URL	—

(4) その他の体験活動（自然体験、職業体験、文化芸術体験、国際交流等）

法人・団体の名称	ガールスカウト神奈川県第18団
法人・団体種別	任意団体
活動の名称	ガールスカウト活動
主な活動の開始年	1980年以前
主な活動拠点の名称	鵜沼公民館
主な活動の概要	<p>年長から大学生までが社会貢献活動、国際交流、キャンプ、野外料理、野外活動を通して自らを磨き心身の健康、仲間との協力などを体験し、社会で役立つ人となる様に活動している。</p> <p>毎月3回から4回の日曜日に公民館にて活動し、年間6回以上の宿泊訓練をしている。</p>
団体 URL	guts out _kanagawa18

法人・団体の名称	ヒッポファミリークラブ藤沢
法人・団体種別	公益財団法人／一般財団法人
活動の名称	ヒッポファミリークラブ
主な活動の開始年	1981年
主な活動拠点の名称	藤沢市民会館
主な活動の概要	ヒッポファミリークラブは、多言語でことばを自然習得する環境を作っている。家族や仲間との普段の活動（海外体験の共有・各国の言葉で交流・歌や文化に触れて遊ぶ）、高校留学、ホームステイ交流等で、世界に友達を作るプログラムがたくさんある。
団体 URL	http://www.lexhippo.gr.jp/

法人・団体の名称	藤沢市ボーイスカウト連絡会
法人・団体種別	任意団体
活動の名称	ハイキング、キャンプ、藤沢市総合防災訓練奉仕
主な活動の開始年	1980年以前
主な活動拠点の名称	藤沢北部野営場
主な活動の概要	ハイキング 日曜日 村岡地域 加盟員（小学生） 活動費等として月額 3,000円を徴収しその中から活動費用を賄っている キャンプと野外炊事 土日曜日 少年の森 加盟員（中学生） 費用の扱いは上記と同じ 丸太とロープで大型工作物の組み立て 日曜日 鵜沼海岸公園 加盟員（高校・大学生） 野外で身体を使ったゲーム 日曜日 新林公園 加盟員（小学校低学年）
団体 URL	—

法人・団体の名称	藤沢市科学少年団
法人・団体種別	任意団体
活動の名称	藤沢市科学少年団令和5年度の活動
主な活動の開始年	1983年
主な活動拠点の名称	市内小中学校
主な活動の概要	対象は科学少年団員、自然観察・施設見学の活動は保護者の参加歓迎 時間は概ね9:00~14:00(活動により変わる場合がある) 参加費用は年団費として徴収、活動ごとの費用負担はなし。 2023年度の活動 4月2日(日)入団式(六会公民館) 4月16日(日)4月活動「雑草を食べる会」(藤沢市少年の森) 5月21日(日)5月活動「気圧を感じよう」(藤沢市立第一中学校) 6月18日(日)6月活動「新林公園の自然観察」(新林公園)、「40周年記念式典」(藤沢商工会館ミナパーク) 7月2日(日)7月活動「夏季宿泊活動事前学習:立体地形模型の製作」(六会公民館) 8月 夏季宿泊活動「長野県八ヶ岳方面」(県外) 9月24日(日)9月活動「夏季宿泊活動事後学習:岩石標本の整理/コケのテラリウム作り」(新林小学校) 10月 施設見学「生命の星・地球博物館」(市外) 11月 「秋の自然観察:泉の森」(市外) 12月16日(土)12月活動「6度目の正直の”幻の”星の観察」(大庭中学校) 1月21日(日)1月活動「科学実験」(市内小中学校を借用予定) 2月18日(日)2月活動「電気工作」(市内小中学校を借用予定) 3月17日(日)3月活動「草木染め他」(市内小中学校を借用予定)
団体 URL	https://fjnc.sakura.ne.jp/

法人・団体の名称	非営利団体ポトツナ
法人・団体種別	任意団体
活動の名称	おもちゃと遊びの広場
主な活動の開始年	2021年
主な活動拠点の名称	駄菓子屋長後
主な活動の概要	子育て世代を対象に、毎月第3土曜日に七つ木市民の家で開催。 おもちゃやボードゲームを使った遊びと学びの体験の場としている。 子供たちと絵本作りにも挑戦している。
団体 URL	https://sales-agent-service.com/npo

(5) 子ども食堂

法人・団体の名称	らららランチの会
法人・団体種別	任意団体
活動の名称	らららランチの会
主な活動の開始年	2017年
主な活動拠点の名称	カトリック藤沢教会
主な活動の概要	毎月第一土曜日 12時より、1時半に昼食を大人300円、子ども無料で提供。 予約不用。
団体 URL	—

法人・団体の名称	社会福祉法人 永寿会
法人・団体種別	社会福祉法人
活動の名称	にっこり かりん子ども食堂
主な活動の開始年	2022年
主な活動拠点の名称	特別養護老人ホームかりん
主な活動の概要	日時 毎月1回：第4金曜日、又は第3金曜日 午後5時半～午後7時 場 所 特別養護老人ホームかりんのサービスコーナー 対象者 幼児～中高生、保護者 高齢者他誰でも可 参加費用 中学生まで無料 高校生以上1食200円 かりんの給食委託業者の 食材提供により、季節感を盛り込み、家庭料理メニューを一人一人お盆で提供し ている。 民生委員がボランティアとして参加してくれる。独居の高齢者や中高生も歓迎。
団体 URL	https://www.eijyukai-karin.com

(6) 食料支援

法人・団体の名称	医療生協かながわ瞳班
法人・団体種別	任意団体
活動の名称	六会ご縁食堂
主な活動の開始年	2019年
主な活動拠点の名称	六会市民の家
主な活動の概要	元々、食堂形式で実施していたがコロナ禍で弁当と食材のテイクアウト、配達を 完全予約制で実施している。 毎月第4木曜 17時～19時の間に取りに来ていただいている。 配達は社会福祉協議会からの紹介の方である。年齢や家族構成は特に定めておら ず現在のご利用も5歳から85歳の一人暮らしの方の利用がある。 飲食の再開や企画の検討を考え六会市民の家に2023年8月から活動場所を変 更した。 参加費は子ども100円、大人300円と定めているが、生活状況により無料とし ている方も多い。
団体 URL	—

(7) 保護者の相談・交流の場

法人・団体の名称	#つながる朝顔プロジェクト
法人・団体種別	任意団体
活動の名称	起立性調節障害おしゃべり会
主な活動の開始年	2017年
主な活動拠点の名称	藤沢市役所分庁舎
主な活動の概要	起立性調節障害の子どもの保護者の悩みを聞いている。 子どもの体調不良による不登校が起立性調節障害ではないかと悩んでいる保護者に、起立性調節障害の正しい診断に辿り着く助言をしている。 医師も学校の教師も起立性調節障害の知識が乏しい現状がある。 起立性調節障害の子どもと回復まで歩んだ経験を元に 悩んでいる方々に寄り添える事を目指して活動している。
団体 URL	https://ameblo.jp/asagao-sakasou/
法人・団体の名称	NPO 法人優タウン
法人・団体種別	特定非営利活動法人(NPO 法人)・認定特定非営利活動法人
活動の名称	朝 Cafe
主な活動の開始年	2018年
主な活動拠点の名称	藤沢市社会福祉協議会活動室
主な活動の概要	“朝 Cafe”とは、不登校の親御さんが気軽に集まって悩みを話したり情報共有する機会。 毎月第4木曜日に社会福祉協議会活動室で開催している。参加費100円。子ども同伴もOKで、子ども達は隣の部屋でボランティアさんと一緒に遊んだりワークショップ体験をしている。 子ども同士の交流もできる場であり、子ども達の繋がりが広がっている。朝 Cafe から、“朝 Cafe こどもアート”（サンパール広場でのこどもの作品展）、遠足イベント、ダンス発表会、畑 Cafe など地域の方の協力を得ながら様々な活動に繋がっている。
団体 URL	https://homeschooling-town.com/
法人・団体の名称	トーキョーコーヒー126 辻堂
法人・団体種別	任意団体
活動の名称	トーキョーコーヒー126 辻堂
主な活動の開始年	2022年
主な活動拠点の名称	トーキョーコーヒー126 辻堂
主な活動の概要	トーキョーコーヒーは多様な人が集まって、大人が楽しく活動（農業、編み物、ダンス、料理などなんでも）する場所。 「問題は子どもの不登校ではなく、大人の無理解」という視点から教育を考え、学ぶ。まずは大人が安心できる仲間と活動に打ち込む事で、自分を解放して癒され整う（リトリート）+ 子育てや教育について話したり考える（アップデート）する。辻堂元町の1軒家を会場として 庭のハーブやいただいた布で小物を作ったり 簡単な料理など作ったり活動している。 対象は興味のある方はどなたでも OK 参加費大人1,000円、子ども500円、未就学児無料
団体 URL	https://tkcf-tokyocoffee.com/

法人・団体の名称	親子の居場所応援ラボ
法人・団体種別	任意団体
活動の名称	ママカフェ
主な活動の開始年	2019年
主な活動拠点の名称	シードハウス湘南台
主な活動の概要	不登校の親の交流会 進路セミナー、イベント 学習支援 個別型塾と連携
団体 URL	https://oyakonoibasho.com/

法人・団体の名称	辻堂小湘洋中育ち合いの会
法人・団体種別	小学校や中学校の不登校の親で作ったサークル(学校公認)
活動の名称	辻堂小湘洋中育ち合いの会
主な活動の開始年	2020年
主な活動拠点の名称	辻堂市民センター
主な活動の概要	月に一度、辻堂市民センターにて集まり、自分や子供の近況を話し合う。最近自分から参加を希望してきた高学年以上の子ども調理室やアトリエを開放。こちらからは何も提供せず各々がやりたいように作品を創造するのをサポートする。中学校長や社協、市民センター長と報告連絡相談。
団体 URL	https://instagram.com/sodachiai_wa?igshid=NGVhN2U2NjQ0Yg%3D%3D&utm_source=qr

藤沢市子どもと子育て家庭の生活実態調査
社会資源調査報告書
2024年(令和6年)3月

発行: 藤沢市 子ども青少年部 子育て企画課